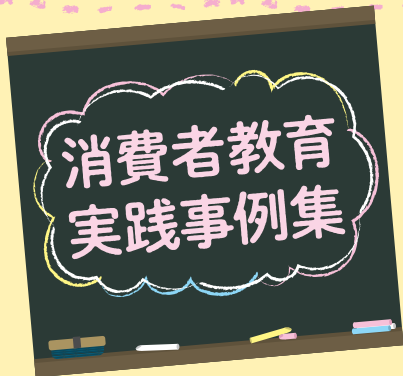


多様な視点から学びを深める 「家計と投資」 —家庭科と公民科のコラボ授業—

岩澤 未奈 Iwasawa Mina 東京都立国際高等学校 主任教諭

東京都の公立高校で家庭科を教える。教科書編集、金融経済教育の指導書の制作にかかわる。杉野服飾大学の教壇模擬演習特別講師として家庭科教員をめざす学生の指導にも当たる



「家庭科の授業で取り上げているトピックには消費者教育や環境、労働問題などもあり、公民科と家庭科は関連が深いね」。きっかけは職員室での公民科教員との何げない会話でした。

家庭科はよりよい人生を設計し、生活者としての自立をめざす教科ですが、社会の一員としての役割を果たすという視点も育てなければ、さまざまな人と共生する豊かな社会の形成はできません。一方、公民科では社会のしくみや概念を学び、社会問題の解決を図り社会全体をよりよくする力を養います。生徒たちがこれからの人生において、それぞれの教科で学んだことを統合して、自分で思考し適切に判断するためには教科の壁を越えた広い視野が必要です。そこで、家庭科と公民科のコラボレーション授業に取り組むことにしました。

「家庭総合」の家庭経済の単元で

2020年10月、2年生を対象に実践した「家計と投資」に関するコラボ授業を紹介します。本授業は、家計を管理し一生涯を見通した経済生活を設計し、適切な資産管理と資産形成のための金融商品の活用について正しい知識を持って主体的に判断し、行動する力を身に付けることをねらいとしました。

2人の教員の役割分担で進行

授業の流れおよび内容は表のとおりです。

1. 導入および展開①

まず私から、収入と支出のバランスを保ち家計管理することが基本であることを確認したうえで、「収入>支出」の状態であればお金が貯まる

(ストックができる)ことに気づかせます(図1)。しかし、資産運用において、普通預金では利息がほとんど付かず、物価の上昇(インフレ)を考慮すると貨幣の価値が下がり、「視点を変えれば貯金が減っているのと同じこと」と問題提起をして公民科教員に交代しました。

表 授業の流れおよび内容

| 時間配分(担当) | 内容 |
|-----------------------|---|
| 導入 [5分] (家庭科) | <ul style="list-style-type: none"> ● コラボ授業の説明 ● ゲストの公民科教員を紹介 ● これまでの振り返りと家計管理の必要性について、本授業のねらいを確認 |
| 展開① [5分] (家庭科) | <ul style="list-style-type: none"> ● キャッシュフローとストック ● 収入と支出のバランス ● インフレとお金の価値 ● 金融商品の種類と特徴 ● 安全性・収益性・流動性 |
| 展開② [20分] (公民科) | <ul style="list-style-type: none"> ● 自己紹介 ● 「もし、今100万円あったらどう使うか」をテーマにグループで討議 ● 貯蓄の目的とは？ 投資とは？ ● リスクとリターン ● 社会貢献としてのESG投資 |
| まとめ [10分] (家庭科) | <ul style="list-style-type: none"> ● 家計のリスク管理と分散投資 ● 短期・中期・長期的計画で目的に合った金融商品の選択 ● 適切な意思決定に向けて ● エシカル消費 ● 詐欺や悪質商法に注意 |

図1 キャッシュフローとストック

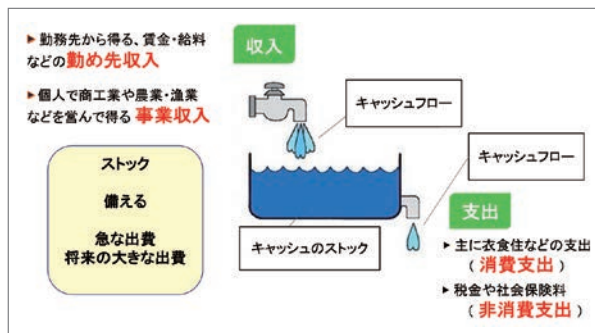


写真 グループ討議のようす(2019年)



2. 展開②

ここでは投資を中心に学びます。公民科教員とは事前に「①社会保障や企業活動を支える投資の社会的な役割」と「②ESG投資は社会貢献」の2点を公民科の立場から教えてもらいたいと打ち合わせしておきました。お互いに忙しいので細かいことは決めず、使用するスライドを見せ合って大まかな流れと時間配分を確認して本授業を迎えています。

資産作りには金融資産と実物資産があることや、公民科教員が「株も、投資信託も、純金積立も実践してます」と話すと生徒は興味津々です。「もし、今100万円あったらどう使うか」のグループ討議では活発な意見が出され、教員が2人いることで質問にはそれぞれの立場で答えることができます(写真)。各グループの発表後、リスクとリターン、ESG投資についての解説(図2)をして公民科の担当は終了しました。

3. まとめ

再び私から「投資は当面使う予定のないお金で」「分散、長期、積み立てはリスクの軽減」「ESG投資はエシカル消費でもある」などリスク軽減のポイントや投資先の選び方を確認し、「しかし、必ずもうかる話はない」と詐欺や悪質商法への注意(図3)を促してまとめました。

最初は「使い道がないから取りあえず貯金する」「株は興味あるけどリスクが高い」と言って

図2 ESG投資

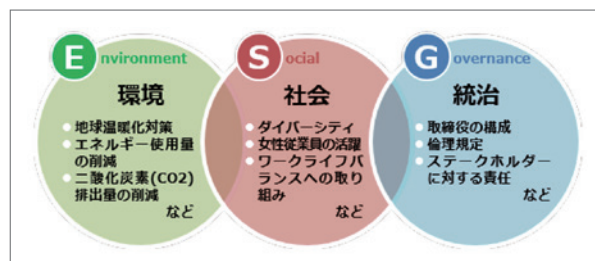


図3 詐欺・悪質商法に注意



いた生徒も「自分のお金が社会に役立つならESG投資をやってみたい」「貯金は安全、投資は怖いと思っていたけど勉強しなきゃ」と新しい意見を引き出すことができました。

家計について、社会をよくするという公民科の視点から考えさせることで、資産形成の方法が1つではないこと、いろいろな情報を統合し多角的に検討したうえで主体的な意思決定が大切なこと、消費者の責任を自覚し社会全体への影響を考えて行動することなど、より深く「家計と投資」を考えさせることができました。

今後も取り組みを続けたい

2020年度はコラボ授業を始めて3年目でしたが、2人の教員の予定を合わせるのが一番の課題です。しかし、コラボ授業はそれぞれの教員の専門性を生かして少ない授業時間を効率よく活用することができ、深い学びの機会とすることができます。基礎的な学習の後、発展応用するためにも有効な授業法です。今後もテーマを広げて教科連携授業を実施していきたいです。